



福島中だより

令和 7 年 度
福島中学校学校通信
5 月 2 8 日 (水)
第 2 号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成 (3年目)

【生徒会スローガン】日 笑 (にっしょう)

福中体育祭での成長

福島町立福島中学校長 助 川 剛

5月23日金曜日に福中体育祭を開催いたしました。

前日まで朝方に雨が降る日々が続いていましたが、当日は朝からの快晴で、気持ちよく開始することができました。福島町教育委員会 小野寺 則之 様、学校運営協議会長 花田 春夫 様をはじめとする来賓の方々、多数の保護者・地域の皆様に来校していただきました。競技のたびに暖かい励ましの言葉をかけていただきましたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度、福中オリンピックから福中体育祭に名称を変更しました。理由は、チーム競技と学年対抗の競技を中心にし、練習から当日競技するまでの過程を通して、「学年、学級の交流を深め、リーダーシップとフォロワーシップを学ぶ」ことを目標にした競技内容にしたからです。

体育祭当日の生徒の様子は次のとおりでした。青チームと赤チーム対抗の福中サイクロン、5本綱引き、全員リレーでは、メンバーの特徴を考えながら、リーダーが中心になって、作戦を考え気持ちを一つにして競技していました。全員リレーでは、練習時よりバトンのリレーがスムーズになり技術の向上が見られ、自分の役割を果たすべく懸命に走っていました。ゴール直後、赤チームのアンカーが涙し、競技にかけた思いの深さに感動しました。学年対抗の8の字跳び、長縄跳びでは、学年で声をかけながら、クラスメイトが気持ちを一つにして自分たちの目標に挑む姿が見られました。練習時は跳べなかった生徒も跳べるようになっており、競技終了後は、その日の五月晴れの空のようにすがすがしい表情でした。

福中体育祭は、練習から当日の競技終了までを含め、生徒たちの成長を目で確かめることのできた意義のある行事となりました。チームリーダーを中心に団体競技の練習方法や作戦を考え、気持ちを一つにする力、自らの役割を果たそうとする力、チームやクラスメイトに声援を送るなどの他を思いやる力の成長です。まさにリーダーシップとフォロワーシップが身に付いた時でした。また、個人競技の男女100mで、練習時から約6秒記録を縮めた生徒がいました。今の全力を出し切ることをできるようになった証です。

これから「やるべきこと」は、福中体育祭で身につけた力を学習、教育活動に生かすことです。身につけた力を生かすことで、生徒皆さんの更なる成長を願います。

